

「九州職業能力開発大学校」を訪ねて

大阪障害者職業能力開発校 真崎 佳代

1. はじめに

今回訪問した施設は、北九州市の小倉南区に位置する九州職業能力開発大学校です。北九州市は20世紀初めから日本有数の工業都市として栄え、現在では「世界の環境首都」を目指す100万人都市です。また小倉周辺は1602年に築城された小倉城と共に栄えた城下町でもあり、今では北九州の商業、行政の中心地となっています。紫川河畔から眺める小倉城と市役所、ショッピングモール、近隣にある旦過市場など散策すると、歴史の深さと産業の発達の調和を感じることができます。

2. 九州職業能力開発大学校の概要

九州職業能力開発大学校の前身である小倉総合高等職業訓練校は昭和62年に北九州職業訓練短期大学校へ転換し、平成5年に北九州職業能力開発短期大学校と名称変更、さらに平成11年、応用課程の創設により九州職業能力開発大学校へ改組されました。



写真1 九州職業能力開発大学校

専門課程（2年制）は、生産技術科、制御技術科、建築科、電子技術科、情報技術科の5科、応用課程（2年制）は、生産機械システム技術科、生産電子システム技術科、生産情報システム技術科、建築施工システム技術科の4科で構成されています。

3. 見学内容

九州職業能力開発大学校到着後、小竹学務長より概要説明を受け、続いて校内を見学しました。

3.1 概要説明

専門課程では基礎的な技能・技術を習得し、その後実学融合による高度な技能・技術の習得を目指した教育訓練システムを実践しており、応用課程ではOJTを意識したワーキンググループ方式により生産現場のリーダーの育成を目指した教育訓練を実施しているという説明を受けました。また、技能・技術の養成に加え、社会人として必要な「人間力」の育成にも力をいれているということでした。



写真2 小竹学務課長からの概要説明

3.2 施設見学

施設の見学では、この時期専門課程の卒業研究と応用課程の総合課題が大詰めであり、生徒それぞれがワーキンググループ方式で課題に取り組んでいました。生徒が積極的に課題に取り組む姿勢や活発なグループミーティングの様子を見て、技術者として、またリーダーとしての資質が育成されていることが感じ取られました。

九州職業能力開発大学校における高い応募率、就職率が裏付けされます。

詳しい概要、科目の内容等は九州職業能力開発大学校ホームページで紹介されています。

(<http://www.ehdo.go.jp/fukuoka/kpc/index.html>)



写真3 実習風景

また、外部発表(大学・企業)、ポリテックビジョン、技能オリンピック等への参加は開発意欲の向上につながるものでした。

3.3 建築施工システム技術科の見学

建築施工システム技術科の見学では京牟禮教授よりご説明をいただきました。実際に2階建ての建築物を建てる等、現場に密着した課題を取り上げて教育訓練を展開することで、施工管理技術、施工・構造実験、施工図等の作成演習、工事監理、建築生産設計、建築生産情報等を習得させ高度な実践技術者を育成します。また注目すべき点は、北九州市が「環境首都」を公言しているように、九州職業能力開発大学校では企業との共同開発により(八幡にある日本で初めて洋釘を開発した大手メーカー「安田工業株式会社」からの研究依頼、開発等)環境や人間に優しく、また地震や水害、台風など日本の風土による災害に対応できる建築素材や強度のある建築構造

の開発をすすめています。それが住宅の基礎や壁、床、屋上を施工するに当たり省エネ型鉄筋コンクリート住宅を建てる「Wエコシステム工法」です。基礎と壁部分には通気性を持つPCパネル採用し、屋上部分には水漏れしない水密コンクリートと小型PCパネルを施工する等「高性能」「ローコスト」な建築物を目指し研究がすすんでいます。実際に実習室では実物の建造物による実験が行われていて、屋上部分には45センチの水位の水張りがされていました。2年間ひび割れ、漏水は確認されていないとのことと技術の高度さに目をみはり、「自然共生住宅」の開発意欲に感銘しました。



写真4 建築施工システム技術科

4. おわりに

かつては四大工業地帯といわれた北九州市ですが今では工業出荷額は全国シェアの1パーセントを割っています。ところが最近では公害を克復した街、環境に取り組む街ということで一部の教科書に掲載されているとのこととです。これからも「環境首都」を目指した地域の取り組みの中で中核となる人材育成に九州職業能力開発大学校が貢献され続けることと思います。

【謝辞】

お忙しいなか、長時間にわたり施設をご案内していただいた九州職業能力開発大学校学務課長小竹様、建築施工システム技術科教授京牟禮様、その他の職員の皆さまに深く御礼申し上げます。